

令和4年度官民研究開発投資拡大プログラム(PRISM)
新 SBIR 制度加速事業実施方針

令和 4 年 6 月 23 日
ガバニングボード決定

「官民研究開発投資拡大プログラム運用指針」(最終改定: 令和4年4月14日ガバニングボード決定)に基づき、令和4年度のPRISM対象施策、配分額を次のとおり定める。

システム改革型

新 SBIR 制度加速事業配分額: 547,107千円

対象施策	概要	府省庁名	配分額(千円)
大学発新産業創出プログラム(START)プロジェクト推進型(SBIRフェーズ1支援)	社会ニーズ・政策課題に基づく研究者向けの研究開発課題をスタートアップ等に適した形で設定する。フィージビリティ・スタディ段階から、幅広く支援を開始、ステージゲートを通して、事業化・成長可能性の高い研究開発シーズを選抜し、連続的に支援を実施する。	文部科学省	197,030
研究開発型スタートアップ支援事業(SBIR推進プログラム)	社会ニーズ・政策課題に基づく企業向けの研究開発課題をスタートアップ等に適した形で設定する。フィージビリティ・スタディ段階から、幅広く支援を開始、ステージゲートを通して、事業化・成長可能性の高い研究開発シーズを選抜し、連続的に支援を実施する。	経済産業省	240,077
「知」の集積と活用の場によるイノベーションの創出のうちスタートアップへの総合的支援	スマート農業技術を活用したサービス事業者の創出やフードテック等の分野で起業を目指すスタートアップが行う、実行可能性調査から試作品の作成、社会実証などの取組を、切れ目なく支援する。	農林水産省	50,000
交通運輸技術開発推進制度(SBIR 省庁連携型)	社会ニーズ・政策課題に基づき設定された交通運輸技術のポテンシャル維持・向上に資するトピックを元にフェーズ1による支援を受けた研究開発を、ステージゲートを通して社会実装性などの観点から選抜し、連続的に支援を実施する。	国土交通省	60,000

令和4年度フェーズ1トピック一覧

No.	タイトル	令和4年度 文部科学省	令和4年度 経済産業省
1	Beyond 5Gの機能を実現・活用し、新たな価値を生み出す最先端の通信技術・通信アプリケーション等に関する研究開発	○	
2	農林漁業者の高齢化や担い手不足の解消に資する自動化・省力化、生産技術の効率化	○	○
3	農林水産物の流通の合理化・迅速化	○	○
4	農林水産物の環境配慮、循環型の生産体系実現の可能性拡大に資する技術開発	○	○
5	ロボティクスを活用した農林水産分野の人手不足解消に資する研究開発		○
6	各障害の特異性・個別性も留意しつつ、多様化する障害像への汎用性も見据えた自立支援機器の開発	○	○
7	IoT等の活用による内航近代化に係る研究開発	○	○
8	海の次世代モビリティによる沿岸・離島地域の課題解決に向けた研究開発	○	○
9	交通分野(特に大型モビリティ)における代替燃料や大容量蓄電池の活用に向けた研究開発	○	
10	造船所の生産性向上に関する研究開発	○	○
11	CPS (Cyber Physical System)型レーザー加工に関する研究開発		○

令和4年度フェーズ2トピック一覧

No.	フェーズ1	タイトル	令和4年度 農林水産省	令和4年度 国土交通省
1	文科	農林水産業・食品産業の課題解決に貢献する研究開発	○	
2	経産 文科	IoT等の活用による内航近代化		○
3	経産 文科	静止衛星ひまわりのデータを用いた社会課題解決に貢献する新たなサービス開発		○

※上記は、他省庁に接続して実施するもの。

令和4年度採択 新SBIR制度加速事業（フェーズ2）2年目の配分方法

○官民研究開発投資拡大プログラム運用指針（ガバニングボード決定（平成29年5月25日））に基づき、新SBIR制度加速事業は、フォローアップ・評価を行った上で予算の配分額を決定するため、次年度の予算は、来年6月に配分する予定。

※令和3年度新SBIR制度加速事業の予算は、令和3年6月30日に移し替えを実施。

○一方で、新SBIR制度加速事業のうちフェーズ2事業は、1～2年程度の事業期間で実施するため、継続した予算措置が必要となる。

○令和4年度に採択された新SBIR制度加速事業（フェーズ2）の2年目の予算については、以下の配分方法とする。

- 令和5年4月 2年目に必要な金額の3割を上限として、フォローアップ・評価に先行して必要な金額を配分
- 令和5年4～5月 審査・評価委員会において、1年目のフォローアップ・評価を実施
- 令和5年6月 フォローアップ・評価の結果を考慮し、4月に配分した金額を除く2年目に必要な金額を配分

